



お知らせ

学びアシスト「きらり塾」受講者募集のご案内

中学3年生を対象に開講していた「きらり塾」を拡充し、11月より中学1・2年生を対象とした新規教室を開講しておりますのでお知らせします。

【日時】金曜日午後7時から午後9時まで（12/17、1/7、1/21、2/4、2/18、3/11、3/25）

【会場】中央公民館 視聴覚室

【内容】5教科を対象とした自主学習形式。疑問点・勉強方法等を講師に質問し、課題の解決を目指します。

【定員】出雲崎町内在住の中学1・2年生 8名（先着順）

【講師】遠山 昇 様（長岡市在住）【申込】町教育委員会 窓口にて申込書を記入し提出願います。

津軽三味線リサイタルを下記のとおり開催します

【日時】12月11日（土）14時開演（15時終了予定）

【会場】良寛記念館 展示棟

【出演】津軽三味線 小林組 様

【定員】30名（先着順）

【料金】入場無料

【お問い合わせ】良寛記念館（TEL：78-2370）



良寛記念館だより



『良寛記念館寄贈・寄託作品展』開催中

好評をいただいております『良寛記念館寄贈・寄託作品展』も後半となり、一部展示替えをいたしました。新たな展示作品として、良寛を敬慕し「新潟県最後の南画家」と呼ばれた横尾深林人や良寛県研究家の相馬御風親子の合作作品などを展示しております。『良寛記念館寄贈・寄託作品展』は12月28日（火）までです。

来年、1月からは『常設展』に戻り、展示館一部におきまして、併設の特別展「近代の書家展」を予定しております。

妻入り会館だより



東京藝術大学院生のスケッチ画を展示替えしました。

今回は昭和63年に来られた大学院生の作品10点になります。見る者を魅了する素晴らしい作品の数々です。

また、昔、日常で使われていた道具などを展示しています。懐かしい道具やめずらしい道具を約20点展示しています。

皆様のお越しをお待ちしています。

【企画展】町の宝もの展 ～昔、日常に使われていた道具～

【開催期間】12月20日（月）まで

指定管理者 妻入の会



年末年始の各施設の開館状況について

	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	備考
中央公民館、海岸公民館	×	×	×	×	×	×	
町民体育館、屋内 GB 場	○	○	×	×	×	○	9:00～17:00
多目的運動広場	×	×	×	×	×	×	2/19まで使用不可
良寛記念館	×	×	×	×	×	×	
北国街道妻入り会館	×	×	×	×	○	○	9:00～17:00

図書館だより（新刊案内）

【中央公民館】

あかずの扉の鍵貸します/集英社…谷 瑞恵 著

火事で家族を失った朔実は、幻堂設計事務所、通称「まぼろし堂」を訪れる。複雑な造りのその館には、時空を超えて潜めておきたい、さまざまな「人の歴史」が預けられていて…。『青春と読書』連載を加筆し、単行本化。

【海岸公民館】

国萌ゆる 小説原敬/実業之日本社…平谷 美樹 著

盛岡藩士の子として生まれ、維新後、士族をはなれ平民となり、新聞記者、外交官、官僚として頭角を現す。第19代総理大臣となるが、東京駅で暗殺され…。日本初の本格的政党内閣を率いた政治家、原敬の激動の生涯を描く。

月と日の后/PHP 研究所…沖方 丁 著

わずか12歳で一条天皇の后となった藤原道長の娘・彰子。父や夫に照らされる“月”でしかなかった彰子は、紫式部にも支えられ、やがて「国母」として、自ら光を放ち出す。

民王 シベリアの陰謀/KADOKAWA…池井戸 潤 著

高西環境大臣が人を凶暴化させる謎のウイルスに感染した。陰謀論者の台頭で、危機に陥る第二次武藤泰山内閣。ウイルスはどこからやってきたのか。泰山は国民を救うべく…。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

今月の一句

〈越後出雲崎 渚会〉

実南天食ふてよいかと稚児の聞く

中山 佐藤 しんご

置き去りの鈴に一輪帰り花

井鼻 八子 ふよう

〈西乃越句会〉

背負ふもの落として山の深ねむり

てまり団地 本間 加津

吾へまだ生きよと生きよと虫しぐれ

川西 仲野 隆之

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

秋あかねどこからくるのおおぜいで

4年生 長谷川 菜々子

秋菫一回とまってひとやすみ

4年生 磯木 友乃

えんがわにっるされるのは干し柿よ

5年生 相澤 善礼

くりご飯家族の顔もほくほくだ

5年生 服部 愛未

咲きはこるなんてかわいいコスモスだ

6年生 笠原 千歩

読書中ふと窓見ると天の川

6年生 櫻井 照我



子育ては かけがえのない時間

教育長 曾根乗知

子育て家庭を取り巻く環境が変化し、子育てには不安感や負担感があります。我が子についての悩みを誰にも相談できずに、親として、時には孤立感を味わうことさえあります。でも、子育てはかけがえのないものです。子育ては、200%の信頼を寄せる我が子と向き合い、共に考え・悩み、励まし合いながら、共に成長できる時間です。子育ての応援歌（詩）を紹介します。

ごめんね

4年 女子

わたしが学校で悪いことをした時
お父さんが泣いた
さっきたたかれましたみより
心がチクンとした

おこられて わたしが泣いたことは
何度もあったけど
お父さんが泣いたのは 初めて

お父さん わたしが泣かしたんだ
ごめんね お父さん

いつもぶきみ

2年 男子

いつも ぼくがかえると
おかあさんが よってくる
そして ぶきみにぶっちゅうをする
そのとき とってもぶきみな
おかあさん

今度は私の番

6年 女子

小さいころ
私は すぐ泣いてしまう子だった
「笑いなさい。泣いたって笑ったって、一日は過ぎるんだ。
それなら、笑った方が得でしょ。」
どれだけ この言葉で
私は 励まされたろう
今 母は
ちょっとしたことで泣き出してしまう
父の単身ふにんや私の事などで
心がかかっているんだろう

母からもらった言葉を
そっくり 私がかえしてあげよう
今度は 私が母を励ます番だ

宝物

5年 男子

「お母さん、あんたより、ケーキや
ステーキの方がいいや。」
うちの母は、わが子のことより、
食べ物の方がいいのです。

しみりした話になると、
「世界中のどんな物より、どんな子
供より、自分の子供の方が
いいよ。」
といます。

おもしろく まじめな母は
ぼくの大切な宝物です。

※紹介した詩は、サトウハチロー記念全国コンクールから、事務局の承諾を得て掲載しました。

町体だより



お申し込み・お問い合わせ
出雲崎町民体育館
TEL 0258-78-4700

ゆめづくりスポーツ教室

キックオフ！！

11月7日(日)、町民体育館でゆめづくりスポーツ教室を開催いたしました。アルビレックス新潟サッカースクール所属の高橋直樹様含む3名のコーチを招き、町のサッカークラブの子どもたちに向け、サッカーを教えてくださいました。ボールを使ってパスやドリブル練習や試合形式のミニゲームなどがあり、子どもたちは笑顔で楽しそうに活動していました。



柔道昇級審査会を開催いたしました！！

11月28日(日)、町柔道場で柔道昇級審査会を開催いたしました。柔道教室に通っている子どもたちが、1年に1回日頃の練習の成果を試す機会となりました。

子どもたち一人ひとりに「礼で始まり、礼で終わる」礼儀作法が身に付いていて、普段から柔道に取り組む真摯な姿勢が伝わってきました。今回は全員が昇級し、審査会后、一人ひとりに昇級認定書が手渡されました。



町民ソフトバレーボール大会を開催いたしました！！

11月21日(日)、町民体育館で第32回町民ソフトバレーボール大会を開催いたしました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、2年ぶりの大会となりました。12チームが参加し、試合中はお互い声を掛け合いながらボールをつなぎ、ミスがあってもチーム内でカバーし合う姿がとても印象的・魅力的でした。ご参加いただきありがとうございました。

【入賞したチーム】

優勝 ブラザーズてつ
準優勝 ブラザーズFC
第3位 チーム30A

入賞おめでとうございます！！

